



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

11月30日号（290号）

編集／販売総本部ブランドプロモーショングループ

朝鮮半島 もうひとつの「本土決戦計画」

30日(日)=1、3面

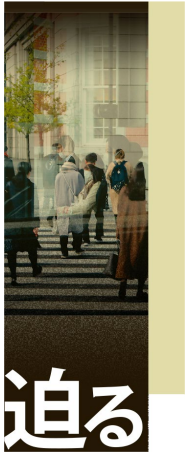
韓国・大田の水族館。旧日本軍が設けた地下壕とみられる



1945年まで日本の植民地だった朝鮮半島は、太平洋戦争末期には旧日本軍が計画した「本土決戦」の拠点のひとつとされました。戦後80年を迎えた今、済州島や半島の各地に残る「地下壕（ちかごう）」に注目が集まっています。

壕は済州島だけでも大小700もあるといわれ、ほとんどが旧日本軍が軍事作戦のために掘ったとされています。また、朝鮮半島では巨大な壕を設けて軍司令部を移設させる計画までありました。今では水族館やワインセラーなどに形を変えて活用されている例もありますが、市民の間では「戦争の悲劇を語り継ぐために遺跡を残すべき」という声も高まっています。

ソウル支局長の福岡静哉記者が現場を訪ね、平和を考えます。



特撮ドラマ「スーパー戦隊シリーズ」50年

12月3日(水)=総合面



論点

テレビ朝日系で放送の特撮ドラマ「スーパー戦隊シリーズ」の開始から今年で50年。半世紀にわたって、多くの子供だけでなく大人にも愛されてきたのはなぜ？

1975年に始まった第1作「秘密戦隊ゴレンジャー」のヒーロー役で出演した俳優、誠直也さんⅡ写真Ⅱやテレビに詳しいコラムニスト、大学教授の3人に話を聞きました。



「最低賃金」を考える

そこが聞きたい

2025年度の最低賃金は過去最大の引き上げ額となり、全都道府県で時給が1000円を超えることになりました。最低賃金については「上がり過ぎだ」という意見もありますが、静岡県立大短期大学部の中沢秀一准教授Ⅱ写真Ⅱは

「『最低』はカツカツの生活を営むための賃金ではなく、人間としての尊厳が保たれるべき最低限の水準という意味です」と語ります。最低賃金の役割やあるべき姿を聞きました。

30日(日)Ⅱくらしナビ面

特集 ワイド

拉致問題どうなる？

有田芳生さんに聞く

12月1日(月)=タ刊2面



北朝鮮による拉致問題は膠着状態が続いています。被害者や家族は年齢を重ね、待ったなしの状況です。高市早苗首相は「私の代で何としても突破口を」と意欲を示しますが、解決への糸口はないのでしょうか。

ジャーナリストとして長年、この問題を追いかけてきた有田芳生衆院議員Ⅱ写真Ⅱは、戦時中の日本で起きた、ある出来事への対応に注目していきます。じっくりと話を聞きました。